

平成17年8月5日

東レ株式会社

アジアにおけるプラスチック射出成形・加工組立事業の再編について

東レ株式会社はこのたび、樹脂事業のグローバル競争力強化を図るべく、アジア地域における射出成形・加工組立事業を再編し、新体制によるオペレーションを開始しました。マレーシア・ペナンにおける三光合成株式会社(本社:富山県南砺市)との合併会社であるペンサンコー社(Pensanko Precision Sdn. Berhad、略称:PSP)を本年6月末に収束し、海外における射出成形・加工組立事業を中国の当社グループ拠点である麗光精密(中山)有限公司(中国広東省中山市、略称:RKZ)、および東波尔斯精密塑料有限公司(中国上海市、略称:STPS)の2社に集約しました。これにより、グループ射出成形・加工組立事業において、よりマーケットニーズに対応した最適地生産体制を実現します。

今回の事業再編に伴い、旧PSP社の生産設備および商権の一部を中国のRKZ、STPS各社、ならびに合併先である三光合成グループ等に移管しました。なお、旧PSP社の跡地については、隣接する当社グループ各社における今後の事業拡張に活用していく計画です。

PSP社は1989年に、マレーシアをはじめアセアン地域に進出する日系の家電・OA機器メーカー向けプラスチック部品の射出成形・加工組立子会社として設立し、きめ細かい顧客対応を強みに事業展開をしてきました。しかし近年、日系メーカーの中国生産シフトや部品の内製化が加速していることを受けて、グループ樹脂事業の事業構造改革の一環として運営体制の見直しを図りました。当社は今後、国内は東洋プラスチック精工株式会社(本社:東京都中央区)を、海外はRKZ、STPSの各社を中核拠点として、射出成形・加工組立事業の競争力強化を図ります。

東レは樹脂事業において、マレーシアに技術開発拠点を設置したのをはじめ、中国華南地区における生販新会社の設立、中国、タイにおけるコンパウンド設備の増強、そして2006年のマレーシアにおけるPBT樹脂の重合生産開始など、成長拡大戦略を推進する一方で、今回の射出成形・加工組立事業における再編等、事業構造改革に取り組んでいます。東レは引き続き、ABS、ナイロン、PBT、PPSを中心とする高機能樹脂の生産・販売と射出成形・加工組立事業の両面からお客様のご要望に幅広く対応して参ります。

以上

< 参考 >

各社概要

1. ペンサンコー社 (Pensanko Precision Sdn. Berhad 略称:PSP)
 - (1) 事業内容: 樹脂成形および組立加工品の製造・販売
 - (2) 設 立: 1989年6月
 - (3) 資 本 金: 22.1百万RM (東レグループ:82.4%、三光合成(株):17.6%)
 - (4) 従 業 員: 332人(内東レ出向者4名)(2004年12月現在)
 - (5) 売 上 高: 69.3百万RM(約19.6億円、2004年実績)

2. 麗光精密(中山)有限公司 (Toray Sanko Precision (Zhongshan) Ltd. 略称:RKZ)
 - (1) 事業内容: 樹脂成形および組立加工品の製造・販売
 - (2) 設 立: 1995年11月
 - (3) 資 本 金: 22.1百万USドル (麗光精密(香港)有限公司*1:100%)
 - (4) 代 表 者: (董事長) 佐藤 昭夫
 - (5) 従 業 員: 707人(内東レ出向者4名)*2 (2005年3月現在)
 - (6) 売 上 高: 10,553千HKドル*2 (2004年実績)

3. 東波尔斯精密塑料有限公司 (Shanghai TPS Precision Co.,Ltd. 略称:STPS)
 - (1) 事業内容: 樹脂成形および組立加工品の製造・販売
 - (2) 設 立: 2002年4月
 - (3) 資 本 金: 300万USドル
(東洋プラスチック精工(株)*3:80%、麗光精密(香港)有限公司:20%)
 - (4) 代 表 者: (董事長) 橋本 與志
 - (5) 従 業 員: 246人(内東洋プラスチック精工(株)出向者4名)(2005年3月現在)
 - (6) 売 上 高: 48,235千RMB(2004年実績)

*1 麗光精密(香港)有限公司の出資比率:東レ(株) 78.6%、三光合成(株) 21.4%

*2 いずれも麗光精密(香港)有限公司との連結値

*3 東洋プラスチック精工(株)の東レ出資比率:66.6%

【本件に関するお問い合わせ先】

東レ株式会社 広報室 (東京)電話:03-3245-5179

以 上